shindaiwa

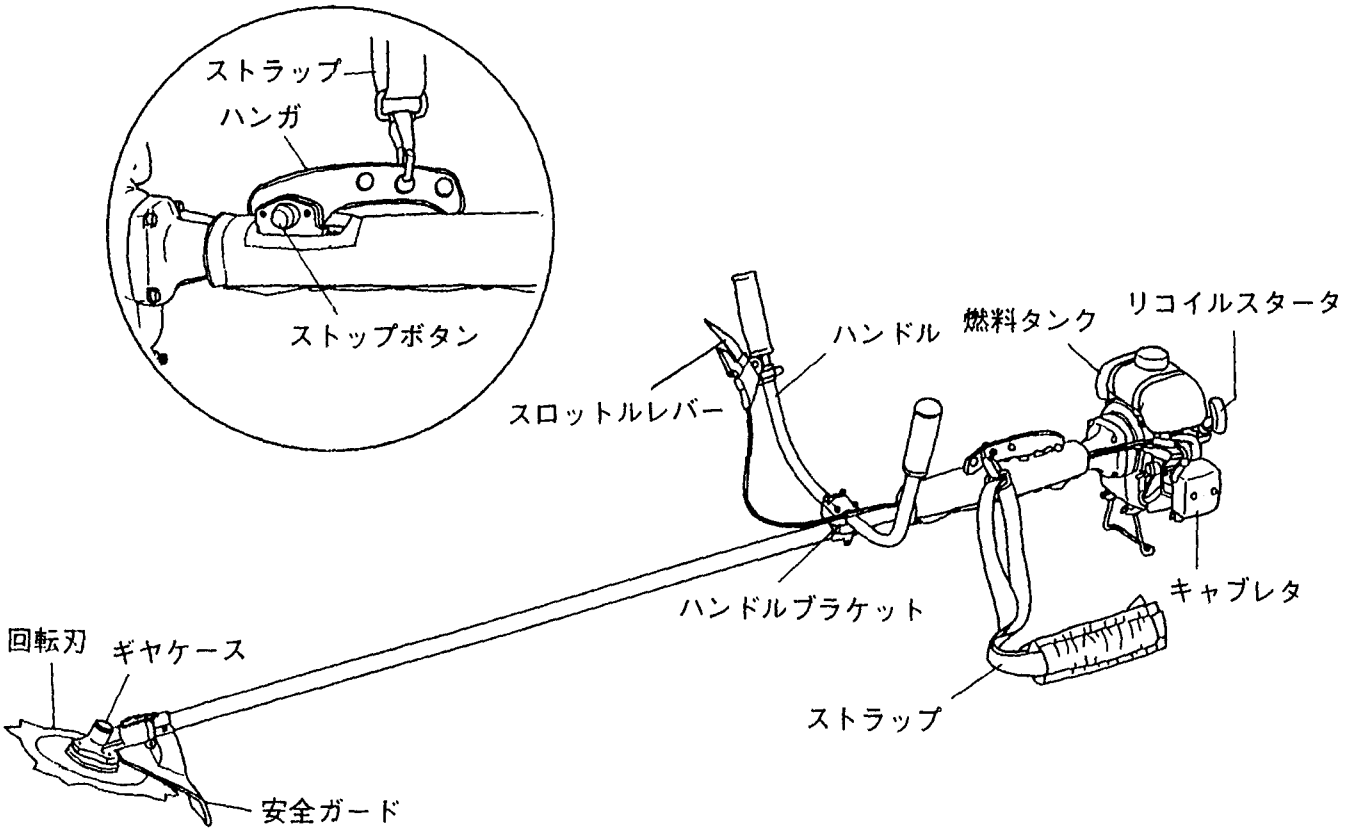
電子エンジン刈払機

かるーね R250F-2A R250F-2B

取扱説明書

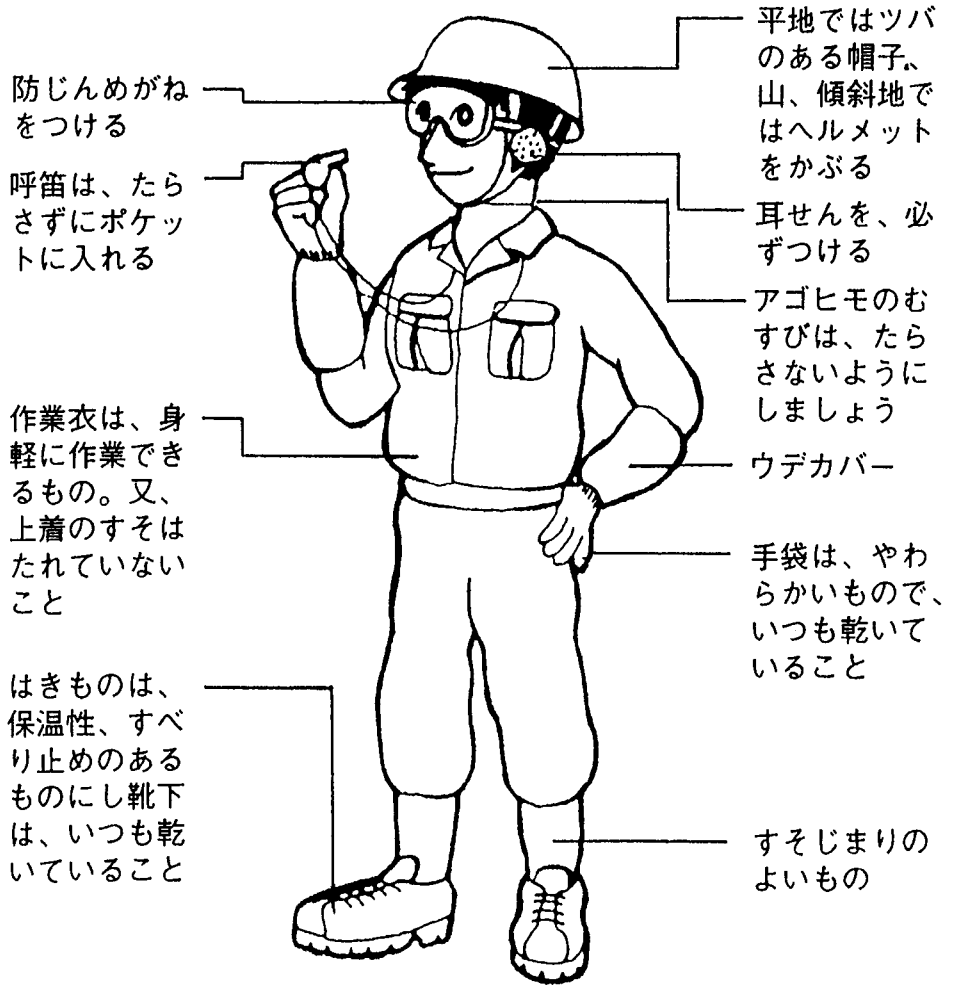
● ご使用前に必ずお読みください。

A．各部の名称



危険防止のために下記のような作業注意事項を守ってください。

1．安全ガードは必ず付けて作業してください。
2．作業中は半径10m以内に他の人を近づけないでください。
3．作業中、移動中は必ず吊りバンド(ストラップ)を着用してください。
4．作業前に、刈刃にひび割れ、めくれ、まがり等の異常がないか点検し異常のある刈刃は絶対に使用しないでください。
木を切る時は必ずのこ刃を使用し、草刈りにはＶＲクロス刃(ＶＲ４枚刃)、ＶＲともえ刃(ＶＲ８枚刃)を使用してください。
5．作業中に刈刃が石などに当って衝撃を受けたときは、必ずエンジンを止めて刈刃の点検を行い、異常のある刈刃は使用しないでください。
6．給油の時は必ずエンジンを止めてください。
7．他の場所へ移動する時は必ずエンジンを止め、刈刃にカバーを付けてください。
8．安全作業のため下図の服装を参考にしてください。



B．主な仕様

名称・形式		新ダイワ R250F-2A	新ダイワ R250F-2B
伝達方式		自動遠心クラッチ、スパイラルベベルギヤ	
減速比		1.286(18：14)	
刃先回転数		5000～7000 r.p.m	
刃先回転方向		上から見て左	
本体乾燥重量		5.1kg(燃料、刃、ストラップ、プロテクタを除く)	
外形寸法(長さX幅X高さ)		1725 mm×535 mm×440 mm	
エンジン	機種名	新ダイワ S250F	
	形式	倒立空冷２サイクルガソリンエンジン	
	内径×行程	32 mm×30 mm	
	総排気量	24.1 cc	
	最大出力	1.2 PS	
	使用燃料	ガソリン25：２サイクル専用オイル１	
	燃料タンク容量	0.7 ℓ	
	気化器	フロート式	
	点火方式	電子点火	
	スパークプラグ	チャンピオン CJ-8	
	始動方式	リコイルスタータ	
	停止方式	押ボタン(防水形)	
	エアクリーナ方式	半湿式、消音形(防滴形)	
標準装備		安全ガード 刃物カバー 附属工具一式 VR クロス刃、230 mm ストラップ 巻付防止カバー	
		過回転防止式スロットルレバー	固定式スロットルレバー(プラスチック製)
オプション		モーアユニット、防振ハンドルブラケット、スイベルロック	
		防振装置付 緊急離脱装置付 } ストラップ	

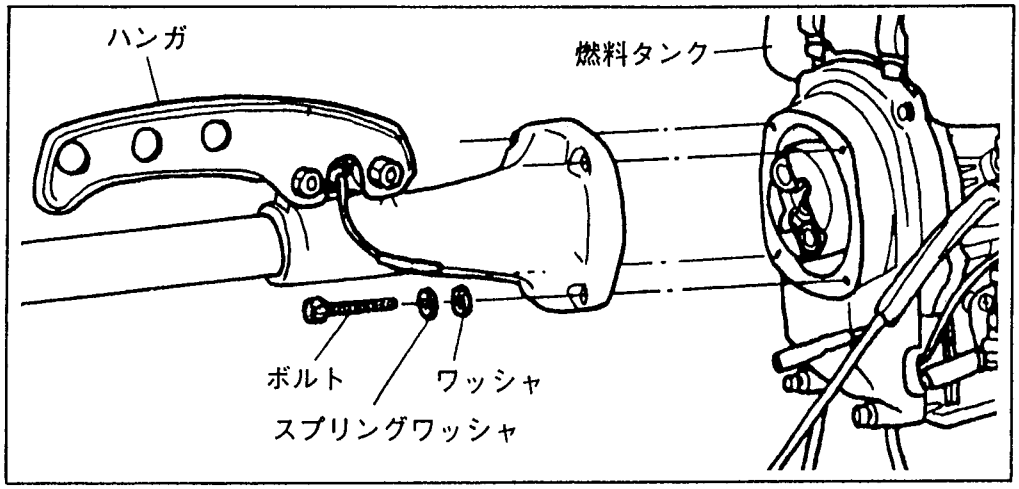
C．組立ての手順

エンジン、ハンドル、安全ガード、回転刃などは取りはずして梱包してありますので、次の要領で正しく組立ててください。

C-1.エンジンの組付け

1．燃料タンクが上、ハンガが上になるように、エンジンを取付けてください。

2．エンジンの組付けには、付属のボルト、スプリングワッシャ、ワッシャをお使いください。



3．４本のボルトは平均に確実に締めつけてください。

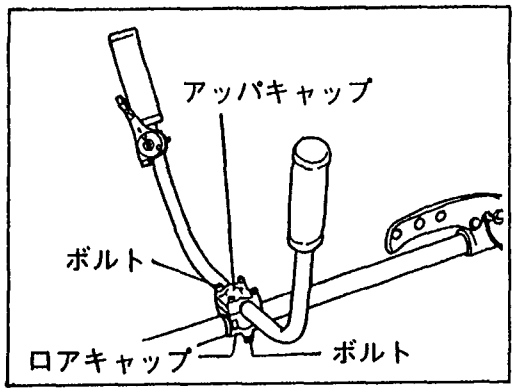
C-2.ハンドルの取付け

1．まず、ハンドルブラケットの下側２本のボルトをゆるめてロアキャップをはずしてください。

2．ハンドルはスロットルレバーが、作業状態で右側になるように組付けます。

3．ロアキャップを元通りにかぶせ、ボルトを軽く締めつけてください。ハンドルブラケットの角度、前後方向の位置を調節して、ボルトを確実に締めつけてください。

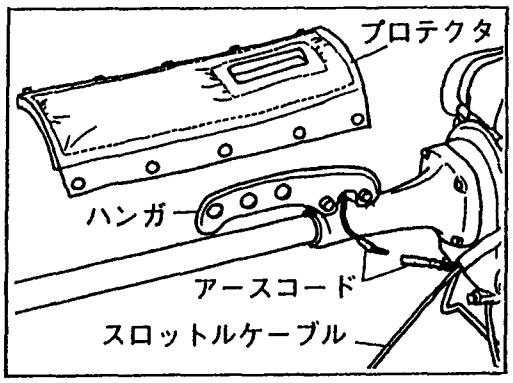
4．アッパキャップの４本のボルトをゆるめて、ハンドルの位置、角度を適当に調節し、ボルトを確実に締めつけてください。



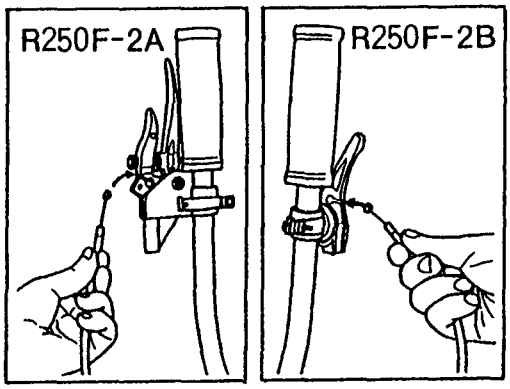
C-3．スロットルケーブルの取付け

1．アースコードをストップボタンのコードに接続してください。

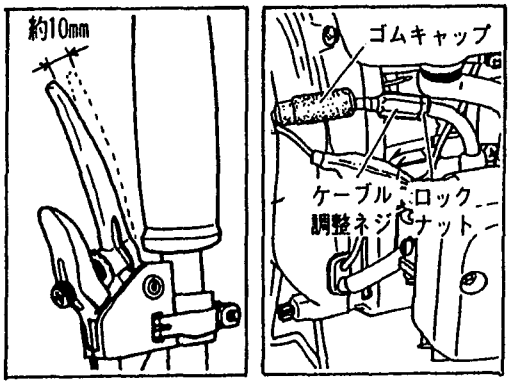
2．スロットルケーブルをハンガの横（図では手前側）を通して、プロテクタを上からかぶせ固定してください。



3．スロットルケーブルはハンドルの上に沿わせケーブルの先端をスロットルレバーに引っかけます。



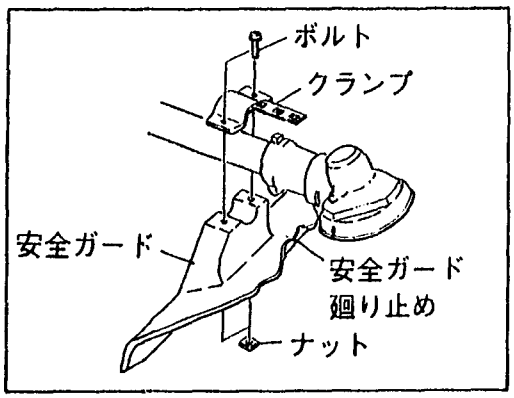
4．スロットルレバー先端の遊びが約10㎜になるようにケーブル調整ネジを調整して、ロックナットで固定してください。（調整した後、ゴムキャップを元通りケーブル調整ネジにかぶせてください。）固定式レバーの場合も同じです。



C-4.安全ガードの取付け

1．安全ガードが水平になるようにギヤケースの廻り止めに噛み合わせ、アウタパイプに取付けます。

2．クランプを取付け、ボルト・ナットで確実に締めつけてください。

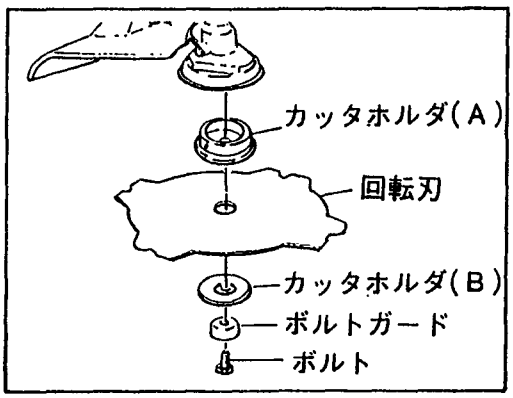


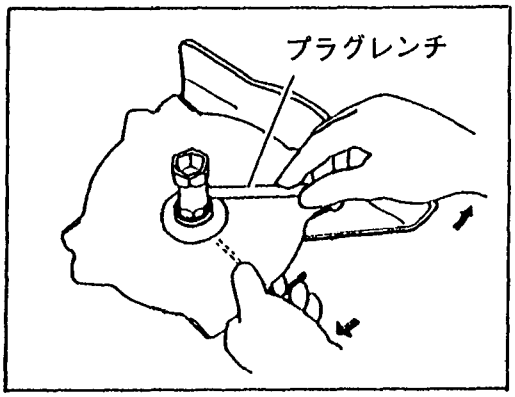
C-5.回転刃の取付け

刈払機全体をさかさまに置くと楽に取付けができます。

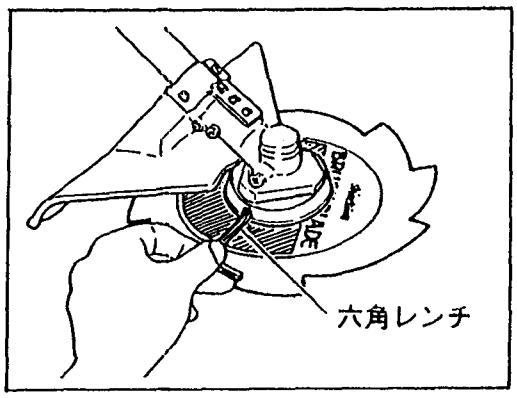
1．回転刃の印刷がギヤケース側になるようにします（作業状態で印刷面が見えるようにする）。

2．カッタホルダーAとBの間に回転刃を取付け、ボルト（左ねじ）をプラグレンチで締付けます。





3．回転刃を締付けるときは、六角レンチをグラスカバーの穴からさし込み、さらにカッタホルダーAとギヤケースの穴まで通してまわり止めを行ってください。さし込みは確実に行ってください。



D．エンジンの始動、停止、調整

D-1．燃料の給油（混合油）

燃料はガソリン25に対してオイル１の割合で混合して給油してください。

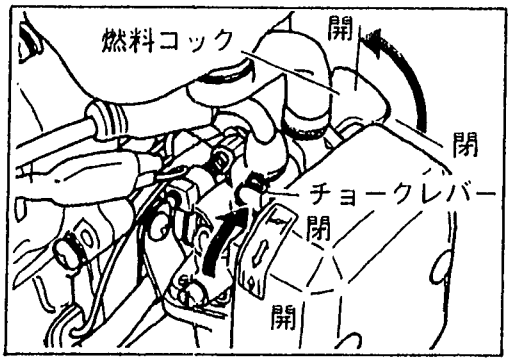
（注）１．オイルは必ず２サイクル専用オイルを使用してください。
２．燃料補給や混合する場合は、火気のないところでおこなってください。
３．エンジンが始動すると、回転刃がまわります。思わぬ事故が起きぬよう必ず周囲の安全確認をしてください。

D-2．始動のしかた

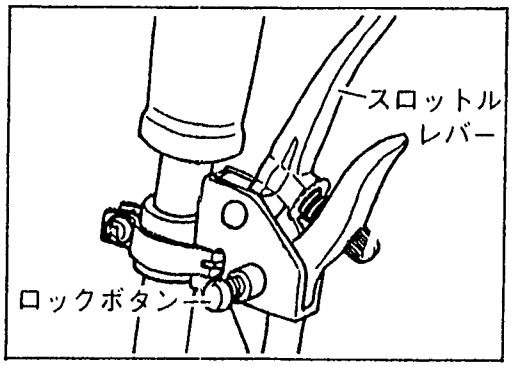
１．エンジンが冷えているとき

1 燃料コックを開き、しばらくおいて燃料を十分にキャブレタに送り込みます。

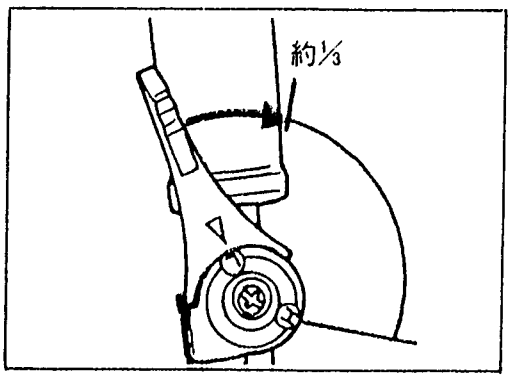
2 チョークレバーを閉にする。



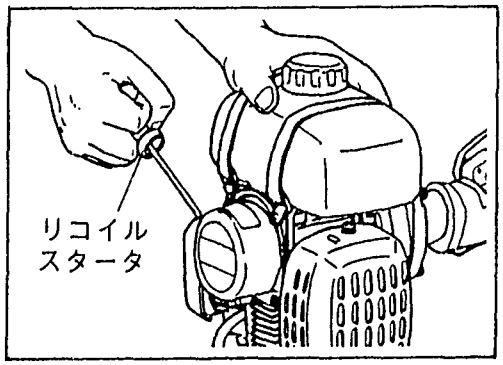
3 (R250F-2A)
スロットルレバーを引いてロックボタンを押したままレバーをはなし、始動の状態にセットする。レバーをもう一度引くとロックははずれます。



(R250F-2B)
固定式スロットルレバーの場合はスロットルレバーを約⅓開いて始動の状態にします。



4 右図のように左手でエンジンを押えて、リコイルスタータを引く。ツメがかかるまではゆっくり引き、かかって重くなった位置から強く引きます。



（注）始動時にスタータロープを最後まで引くとロープの寿命が短くなりますので、できるだけ最後まで引かないようにしてください。圧縮が利いて重くなった位置から勢い良く引けば容易に始動します。

5 爆発音がしエンジンが始動したら、チョークを徐々に開に戻してください。爆発音がしてもエンジンが始動しないときはチョークレバーを開に戻し再びリコイルスタータを引いて始動してください。始動したらスロットルレバーを少し引いてロックをはずし、アイドリング状態にしてください。エンジンがかかると回転刃もまわりますから注意してください。

2．エンジンが暖まっているとき

1 燃料コックを開く。

2 スロットルレバーを始動の状態にセットする。（前記 3 ）

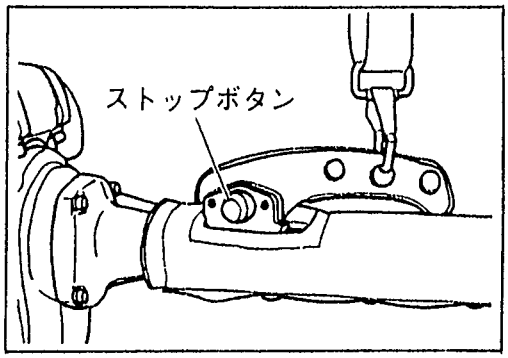
3 リコイルスタータを引く。

（注）1．チョークレバーを閉にして始動するときは、爆発音がしてもチョークを閉にしたまま始動操作をくりかえすと、燃料の吸込みすぎとなります。必ずチョークレバーを開に戻し再始動してください。（前記 5 参照）
2．始動したら２～３分低速で暖機運転してください。

D-3.停止

1．スロットルレバーをはなして、エンジンの回転を低速に落とし、しばらくの間、運転しエンジンを冷やします。

2．燃料コックを閉じ、ストップスイッチを、エンジンが完全にとまるまで押しつづけてください。



D-4.エンジンの調整

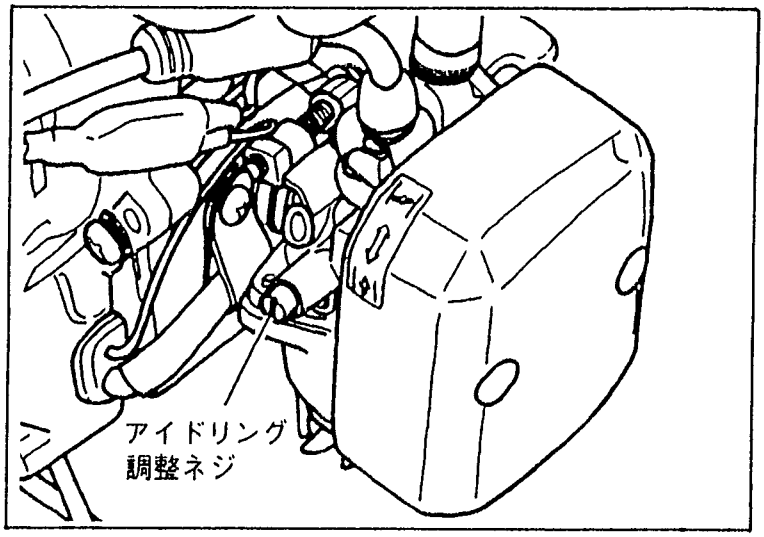
エンジンを始動させて、２～３分低速で暖機運転をした後に調整してください。

1．アイドリングの調整

スロットルレバーをもどしたとき、安定して回転するようにアイドリングを調整してください。

アイドリング調整ネジを
- 右にまわすと→回転が早くなる
- 左にまわすと→回転が遅くなる

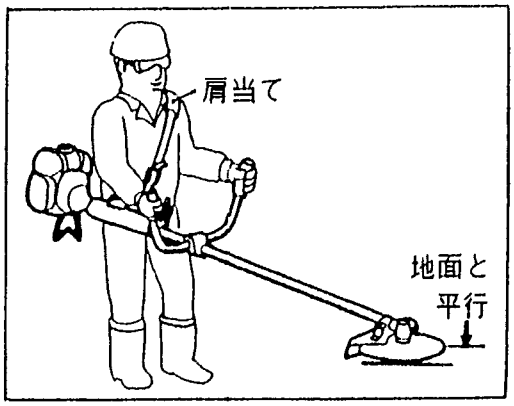
（注）低速回転のとき、クラッチが切れて回転刃の回転が止まるようにしてください。



E．操作とその準備

E-1.ストラップの掛け方

1．肩当てが左肩に当たるようにして、刃先が地面と平行になるように、ストラップの長さを調節してください。



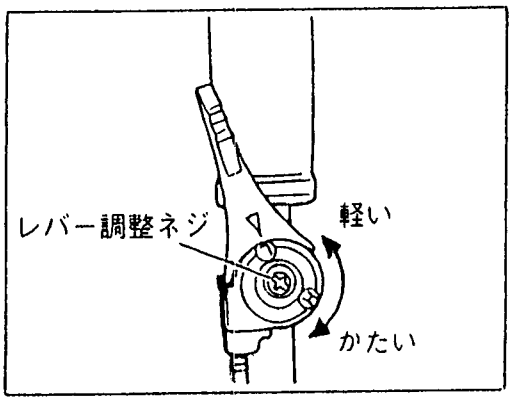
E-2.操作の方法

1．エンジンを始動させ、スロットルレバーを引いてエンジンの回転を上げていくと、自動的に回転刃が回転をはじめます。

2．スロットルレバーを全開位置に戻せば、クラッチが切れ、エンジンはアイドリング（無負荷低速）状態になります。

スロットルレバーの調整（R250F-2B）

スロットルレバーから手をはなしても戻らないよう、適当なかたさにレバー調整ネジを調整してください。



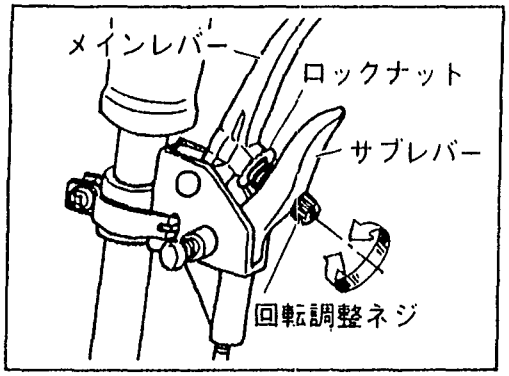
レバー調整ネジを
- 右にまわすと→レバー操作がかたくなる
- 左にまわすと→レバー操作が軽くなる

スロットルレバーの調整（R250F-2A）

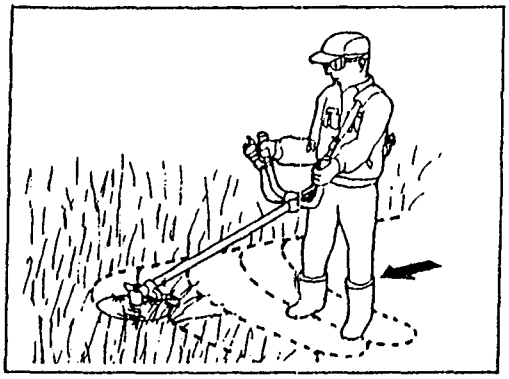
①ロックナットをゆるめてください。
②メインレバーをいっぱい握った状態で、作業に合った回転になるように、回転調整ネジを調整してください。

回転調整ネジを
- 右にまわすと→回転が早くなる
- 左にまわすと→回転が遅くなる

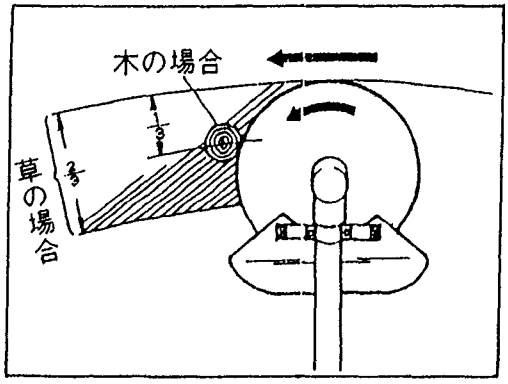
③調整後、ロックナットを必ず確実に締めてください。
④サブレバーを握ると更にエンジンの回転が早くなります。



3．回転刃の回転方向は左廻りですから、右側から左側に寄せるように刈ると能率的です。（刈取った草は左側に寄せられますので、広い面積を刈るときには左側から前進すると刈取った草が次の列を刈るときに邪魔にならず、能率的に作業がすすめられます。）



4．回転刃の切れ味は、先端から⅓あたりが最高です。のこ刃で木を切る場合などは⅓の位置を使い、草などを刈る場合は先端から⅔の範囲を使うようにすれば刈り残しがありません。



5．草や木を切らない状態でスロットルレバーをいっぱいに引きますとエンジンは空ぶかし（無負荷高速）になり、エンジンや刈払機本体のシャフトを破損させる原因となりますので注意してください。

6．クラッチがつながって回転刃が回転していても、低速にしすぎると共振現象による振動を感じることがあります。この状態で作業をしますと、クラッチの摩耗を早めます。又、草なども巻きつきやすいので、もう少し回転を上げて使用してください。（のこ刃で木を切るときには、強く当てないで徐々に切込んでください。）

（注）1．作業中は半径10m以内に他の人を近づけないよう注意してください。
2．作業中の飛散物から作業者を守るため、必ず安全ガードを取付けてください。
3．運搬のときは必ず回転刃にカバーをかけてください。

F．手入れと調整

F-1.日常の手入れ

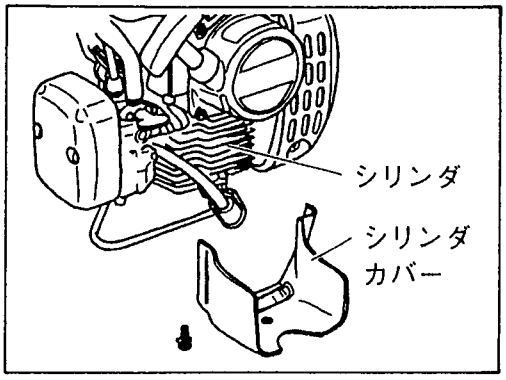
1．刈払機全体の草やホコリを取り除いてください。特に冷却空気の通り路や、エアクリーナ部分の付着物に気をつけましょう。

2．各締付部のゆるみ、あるいは部品の脱落がないかをよく調べてください。(特に回転刃のボルトは、作業前には必ず締付けて確認してください。)

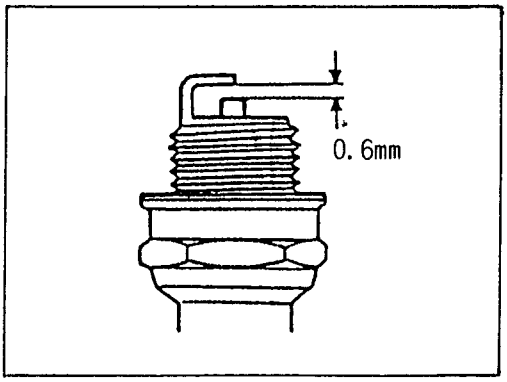
3．燃料やグリースのもれがないか点検してください。

F-2.50時間毎の手入れ

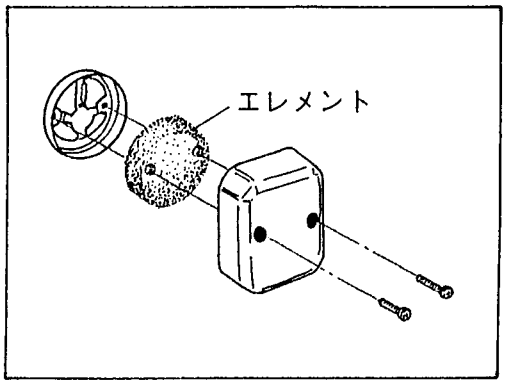
1．シリンダカバーをはずし、シリンダのフィンについている草やゴミを取り除いてください。組付けるときは、クランクケースにキチンとはめてください。



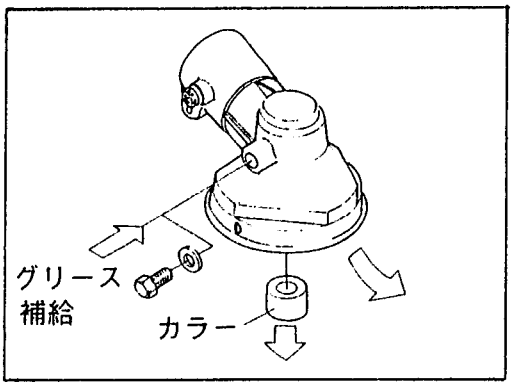
2．スパークプラグをはずし、汚れを落して、すきまの調整をしてください。すきまは0.6mm（ハガキ3枚の厚さ）が適当です。スパークプラグを交換するときは、当社指定の純正品をお使いください。



3．キャブレタからエアクリーナエレメントをはずして、混合燃料でよく洗い、絞ってから取付けてください。



4．ギヤケースの中にグリースを補給してください。ギヤシャフトのカラーを抜いてグリースを補給すると古いグリースは押し出されます。（グリースはギヤケース用純正グリースを必ず使用してください。）

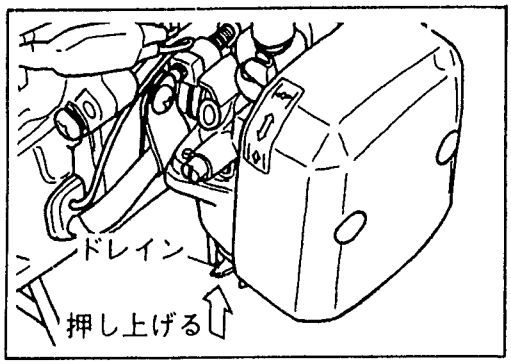


G．長期保管

長時間使用せずに保管する場合は、次の要領で保管してください。

1．各部は十分に清掃し、金属部分には薄くオイルを塗ってサビを防いでください。

2．燃料タンクとキャブレタの燃料を全部排出してください。
キャブレタ内の燃料は右図のように、ドレインを押し上げて排出してください。



3．スパークプラグの穴から少量のオイルをシリンダ内に流し込みオイルがゆきわたるように2～3回リコイルスタータを引いて圧縮のあるところで止めてロープをもどしてください。

4．損傷箇所がある場合は、修理してから保管しましょう。

5．湿気のないところ、ゴミやホコリの付かない所に格納してください。

H．安全作業のおねがい

安全な作業をしていただくために、必ず次の注意をお守りください。

H-1.服装

1．長そでの上着、長ズボンを着用してください。(すそのヒラヒラした上着は危険です。)
2．ツバのある帽子、または傾斜地ではヘルメットをかぶってください。
3．作業中は防じんメガネをかけてください。
4．すべり止めのついた地下たびか、安全靴をはいてください。

H-2.暑熱、寒冷のときには、長時間の作業は避けてください。また雨の日は、滑りやすいので避けてください。

H-3.火気厳禁

1．ガソリンを使用しますので、刈払機や燃料のそばでタバコやたき火はやめてください。
2．燃料補給時には、必ずエンジンを停止してください。
こぼれた燃料は拭き取ってください。
3．始動は燃料のある場所や、燃料補給の場所から離れて行ってください。

H-4.作業前の点検

1．運転前に回転刃の締付ネジを確実に締めつけてください。
2．運転前に回転刃の「欠け」、「ひび割れ」、「まがり」などの異常がないか点検してください。異常がある場合には絶対に使用しないでください。
3．回転刃を回転させて、異常な振動がないか調べてください。
(異常な振動がある場合は、回転刃がカッタホルダにはまっていないことがあります。)
4．回転刃締付ボルトがすり減ってスパナがかけにくいような場合には、必ず新品と交換してください。

H－5．作業中の注意

1．作業中は10m以内に他の人を近づけないよう注意してください。数人で作業するときも、作業者間の間隔をとってください。

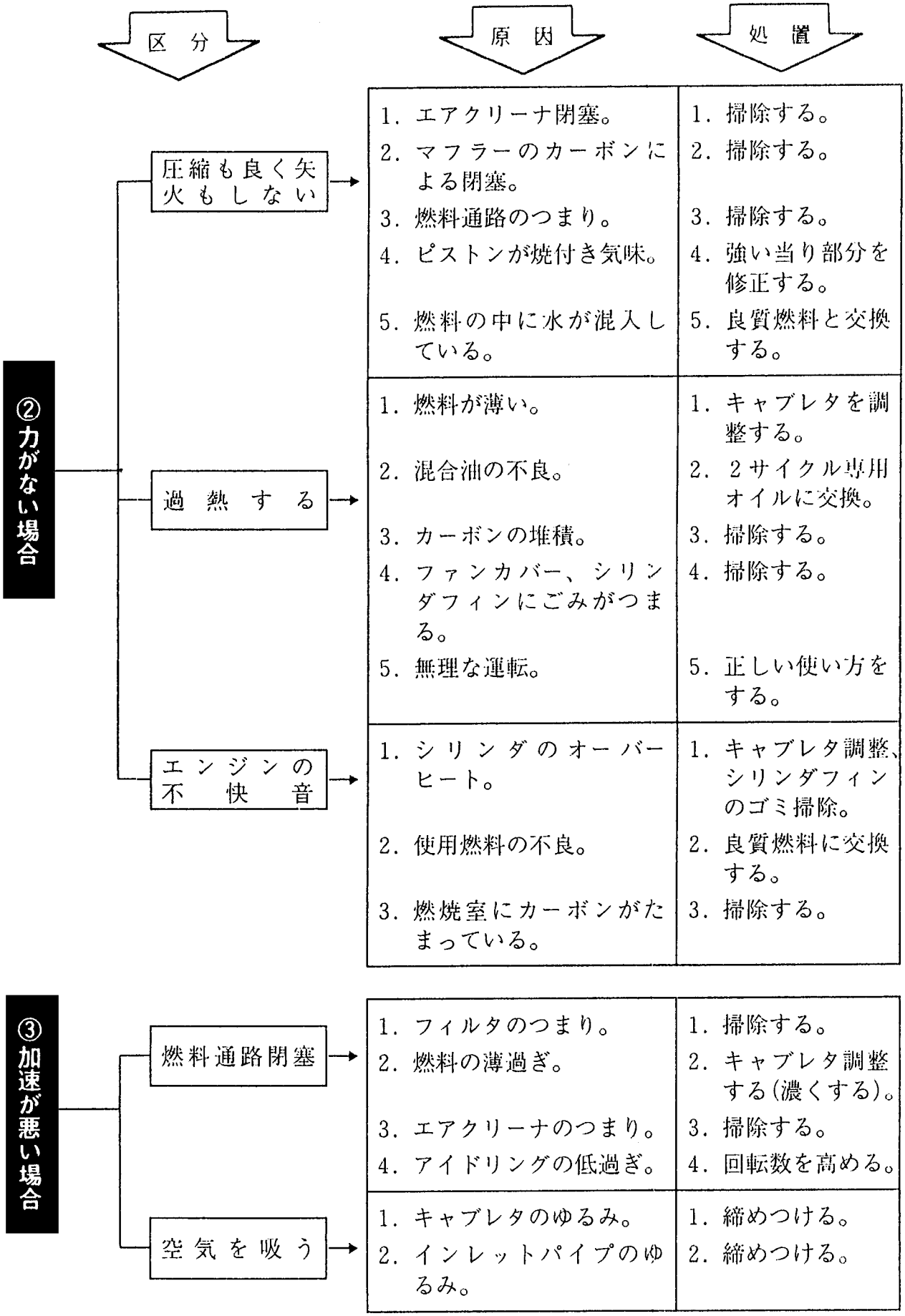
2．石の多いところ、電線、バラ線などのあるところは、刃先を当てないように注意して作業してください。もし、あやまって石などに刃先が当った場合は、必ずエンジンを停止して、刃先に異常がないかを確認してください。

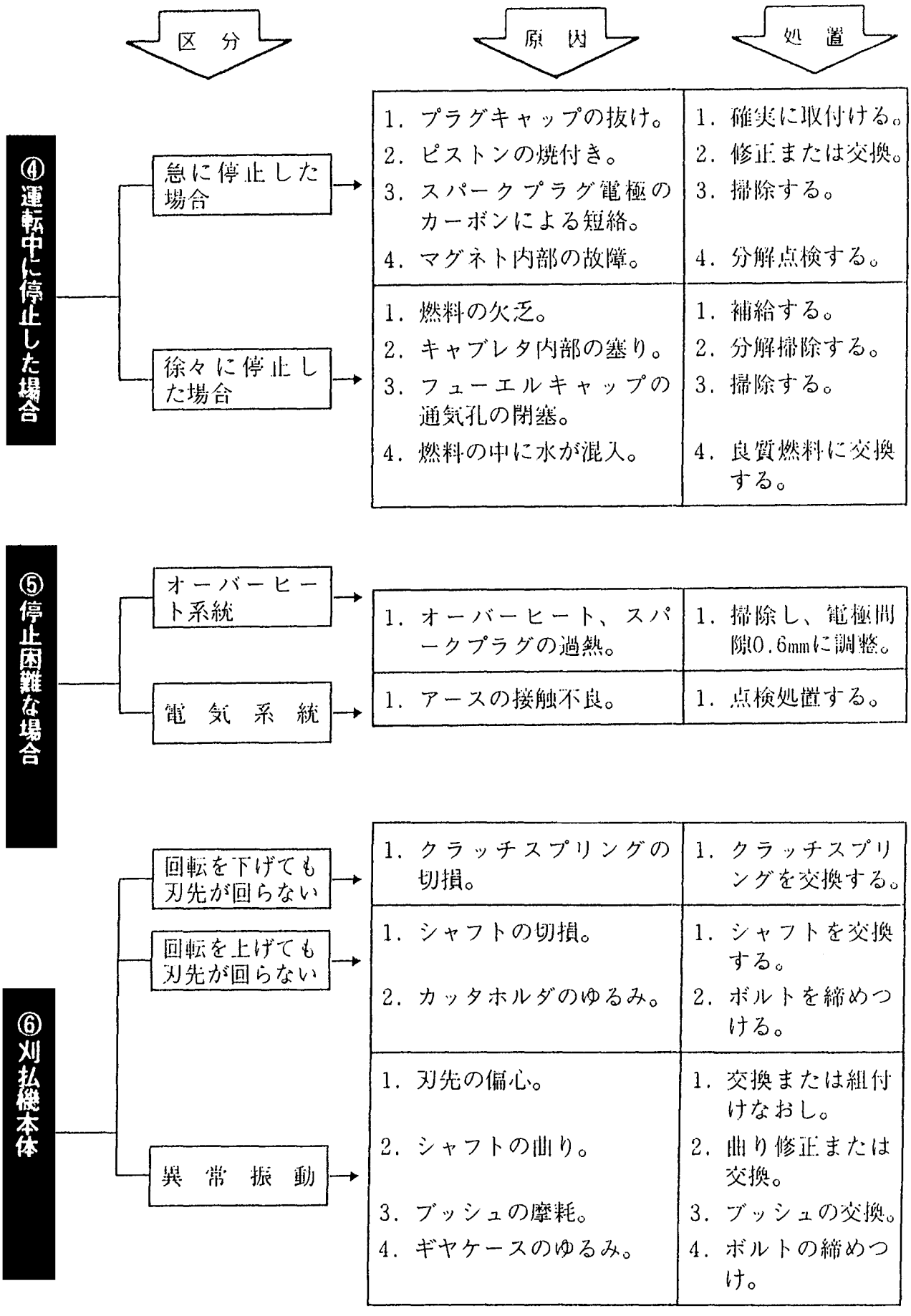
3．他の場所へ移動するときは必ずエンジンを止めてください。

4．安全ガードを取りはずして作業することは、絶対にやめてください。

Ⅰ．故障の診断と処置

区分		原因	処置
①エンジンが始動しない場合	スパークプラグに火が飛ばない	スイッチ	1．スイッチが故障している。	1．良品に交換する。
		スパークプラグ	1．電極がぬれている。 2．電極にカーボンがたまっている。 3．碍子のキレツ等による絶縁不良。 4．電極間隙の過小または過大。 5．電極の焼損。	1．乾燥させる。 2．掃除する。 3．良品に交換する。 4．0.6㎜に調整。 5．良品に交換する。
		マグネト	1．コイルが断線している。 2．コイルの絶縁不良。 3．コード被覆の切損。 4．ユニットが断線している。	1．良品に交換する。 2．良品に交換する。 3．交換または補修。 4．良品に交換する。
	スパークプラグに火が飛ぶ	圧縮も良好で燃料もくる	1．燃料の吸い過ぎ。 2．燃料の濃過ぎ。 3．不良燃料の使用。	1．リコイルスータにて外部に放出する。 2．キャブレタを調整する。 3．良質燃料と交換する。
		燃料はくるが圧縮不良	1．シリンダ・ピストン・ピストンリングの摩耗。 2．スパークプラグがゆるんでいる。	1．交換する。 2．締めつける。
		キャブレタに燃料がこない。	1．燃料タンクに燃料がない。 2．燃料コックが閉じている。 3．燃料コックのフィルタがつまっている。	1．補給する。 2．開く。 3．掃除または交換する。


区分
原因
処置
②力がない場合
圧縮も良く矢火もしない
過熱する
エンジンの不快音
1．エアクリーナ閉塞。
2．マフラーのカーボンによる閉塞。
3．燃料通路のつまり。
4．ピストンが焼付き気味。
5．燃料の中に水が混入している。
1．掃除する。
2．掃除する。
3．掃除する。
4．強い当り部分を修正する。
5．良質燃料と交換する。
1．燃料が薄い。
2．混合油の不良。
3．カーボンの堆積。
4．ファンカバー、シリンダフィンにごみがつまる。
5．無理な運転。
1．キャブレタを調整する。
2．２サイクル専用オイルに交換。
3．掃除する。
4．掃除する。
5．正しい使い方をする。
1．シリンダのオーバーヒート。
2．使用燃料の不良。
3．燃焼室にカーボンがたまっている。
1．キャブレタ調整、シリンダフィンのゴミ掃除。
2．良質燃料に交換する。
3．掃除する。
③加速が悪い場合
燃料通路閉塞
空気を吸う
1．フィルタのつまり。
2．燃料の薄過ぎ。
3．エアクリーナのつまり。
4．アイドリングの低過ぎ。
1．掃除する。
2．キャブレタ調整する(濃くする)。
3．掃除する。
4．回転数を高める。
1．キャブレタのゆるみ。
2．インレットパイプのゆるみ。
1．締めつける。
2．締めつける。


区分
原因
処置
④運転中に停止した場合
急に停止した場合
1．プラグキャップの抜け。
2．ピストンの焼付き。
3．スパークプラグ電極のカーボンによる短絡。
4．マグネト内部の故障。
1．確実に取付ける。
2．修正または交換。
3．掃除する。
4．分解点検する。
徐々に停止した場合
1．燃料の欠乏。
2．キャブレタ内部の塞り。
3．フューエルキャップの通気孔の閉塞。
4．燃料の中に水が混入。
1．補給する。
2．分解掃除する。
3．掃除する。
4．良質燃料に交換する。
⑤停止困難な場合
オーバーヒート系統
1．オーバーヒート、スパークプラグの過熱。
1．掃除し、電極間隙0.6mmに調整。
電気系統
1．アースの接触不良。
1．点検処置する。
⑥刈払機本体
回転を下げても刃先が回らない
1．クラッチスプリングの切損。
1．クラッチスプリングを交換する。
回転を上げても刃先が回らない
1．シャフトの切損。
2．カッタホルダのゆるみ。
1．シャフトを交換する。
2．ボルトを締めつける。
異常振動
1．刃先の偏心。
2．シャフトの曲り。
3．ブッシュの摩耗。
4．ギヤケースのゆるみ。
1．交換または組付けなおし。
2．曲り修正または交換。
3．ブッシュの交換。
4．ボルトの締めつけ。

新ダイワ工業株式会社

本 社　〒731-15 広島県山県郡千代田町新氏神35　☎0826-72-6011(代)

札幌営業所	〒065	札幌市東区北33条東17丁目4－17	☎011－783－7551
旭川事務所	〒070	旭川市5条16丁目左10号	☎0166－23－7520
仙台営業所	〒983	宮城県仙台市若林区大和町1丁目22－45	☎022－239－1688
郡山出張所	〒963-01	福島県郡山市安積町2丁目341－1	☎0249－45－8678
盛岡出張所	〒020-01	岩手県盛岡市月が丘1丁目26－52	☎0196－41－3416
東京営業所	〒134	東京都江戸川区中葛西6丁目17－8	☎03－3687－5771
千葉事務所	〒260	千葉市中央区星久喜町1115－2	☎043－263－9901
多摩出張所	〒191	東京都日野市日野台2丁目40－29	☎0425－86－7551
横浜出張所	〒222	神奈川県横浜市港北区篠原西町34－33	☎045－431－7786
静岡営業所	〒422	静岡市西脇476	☎054－282－7012
大宮営業所	〒330	埼玉県大宮市吉野町1丁目19－4	☎048－666－2521
宇都宮出張所	〒321	栃木県宇都宮市石井町3431－27	☎0286－56－1671
土浦事務所	〒300	茨城県土浦市文京町7--8	☎0298－24－7855
前橋出張所	〒371	群馬県前橋市上小出町2丁目46-3	☎0272－34－5956
長野出張所	〒381	長野市吉田5丁目24－16	☎0262－44－3970
新潟出張所	〒950	新潟市竹尾4丁目11－5	☎025－275－5616
名古屋営業所	〒454	愛知県名古屋市中川区小本本町1－75	☎052－362－2281
津事務所	〒514	三重県津市大字半田池町590－5	☎0592－27－2716
岐阜出張所	〒500	岐阜市六条南3丁目3－17	☎0582－71－4015
大阪営業所	〒556	大阪市浪速区桜川4丁目11－20	☎ 06－561－8484
和歌山事務所	〒640	和歌山市中之島2052	☎0734－23－5155
京都出張所	〒601	京都市南区吉祥院前河原町1	☎075－321－0141
姫路出張所	〒670	兵庫県姫路市西今宿5丁目5－4	☎0792－98－1250
金沢出張所	〒920	石川県金沢市諸江町中丁344	☎0762－37－1230
松山出張所	〒790	愛媛県松山市久万ノ台223	☎0899－22－8886
高松営業所	〒761-01	香川県高松市春日町片田1638－7	☎0878－43－1201
徳島事務所	〒770	徳島市中昭和町5丁目51－2	☎0886－22－8183
高知事務所	〒780	高知市南宝永町4－12	☎0888－83－7255
広島営業所	〒730	広島市中区江波南2丁目10－23	☎082－293－7600
米子事務所	〒683	鳥取県米子市旗ケ崎2丁目8－1-108	☎0859－34－7822
防府事務所	〒747	山口県防府市栄町2丁目2－29	☎0835－24－3424
岡山出張所	〒700	岡山市西長瀬261－104	☎086－241－3013
福岡営業所	〒812	福岡市博多区上牟田3丁目5－22	☎092－411－9801
諫早事務所	〒854	長崎県諫早市小船越町1021－3	☎0957－23－3341
小倉出張所	〒803	北九州市小倉北区高峰町10－8	☎093－561－3422
大分事務所	〒870-01	大分市高城南町7－13	☎0975－52－1745
熊本出張所	〒862	熊本市健軍本町7－17	☎096－365－0484
鹿児島営業所	〒890	鹿児島市宇宿2丁目23－18	☎0992－57－6801
宮崎出張所	〒880	宮崎市霧島5丁目59	☎0985－23－2126

22406-93110 (1-8909) Ⓖ